

当別町はこんなまちです。

「札幌から一番ちかい、いなか」と呼ばれる当別町。
札幌市内中心部まで車で40分ほどで移動でき、札幌駅に向かう電車も1日に
110本運行しています。買い物やレジャーはもちろん、当別町に住み、
通勤や通学で札幌に通っている人もたくさんいます。

TOBETSU TOWN MAP

POINT!

街の一部がスウェーデン!?

元スウェーデン大使が「風景が似ている」と賞したことをきっかけに、南部の丘陵地でスウェーデンヒルズの開発がはじまりました。北欧風の家々がずらりと立ち並び、スウェーデン・レクサンド市とは姉妹都市提携が結ばれています。



スウェーデンヒルズ



POINT!

過ごしやすい気候

北海道の日本海側に位置し、7月の平均気温が約20°Cと夏でも快適に過ごすことができます。冬には多くの雪が降りますが、積雪が10センチを超えると深夜でも除雪作業が始まり、万全の除雪体制が整えられています。

POINT!

子育てにやさしいまち

小学6年生までの学童保育施設や地域子育て支援「ファミリー・サポート・システム」の仕組みを整備。医療費助成や各種手当、北海道医療大学と提携した健診・指導など特色あるサポートにも取り組み、2022年には一体型義務教育学校「当別町立とうべつ学園」が開校を予定しています。



一体型義務教育学校「当別町立とうべつ学園」

POINT!

安心できる生活環境

内科、小児科、整形外科など複数の医療機関があり、高度医療を手がける北海道医療大病院（札幌市北区あいの里）も至近。スーパーやコンビニ、ホームセンターもあり、生活に必要なものは、ほぼ町内で手に入ります。2017年にオープンした「北欧の風道の駅とうべつ」には農産物直売所も設けられています。



北欧の風道の駅とうべつ

◎もっと詳しい
まちの情報は
こちらのウェブ
パンフレットから!



はなのまち 当別町で 新規就農

TOBETSU TOWN
SHINKISYUNOU GUIDE

当別町農業総合支援センター

申込・問い合わせ先
はこちら

当別町農業総合支援センター（北石狩農業協同組合内）
〒061-0295 北海道石狩郡当別町錦町53番地57 TEL0133-23-2552 FAX 0133-22-0711
<http://www.ja-kitaishikari.or.jp/contents/shien/>

じっくり寄り添う、しっかり支える。

「当別町で新規就農」のホント

北海道の中心・札幌から車でわずか40分の位置にある当別町。
このまちで新しい一歩を考えているあなたにぜひ知って欲しい新規就農のホントをご紹介します。

ホントその1 花きで就農

当別町は花きの生産が盛んで、特に「ユリ」は北海道一の生産量です。ユリを軸に就農していただきますが、ユリ以外の花き（主な品目はカスミソウ、カーネーション、ヒマワリ、トルコギキョウ、キイチゴ、カラー、チューリップ、バラなど）、露地野菜などを組み合わせることで、天候リスク等を抑えた経営も可能です。花き栽培を軸に野菜の栽培についてもご相談に応じます。



◎ユリ栽培の年間作業

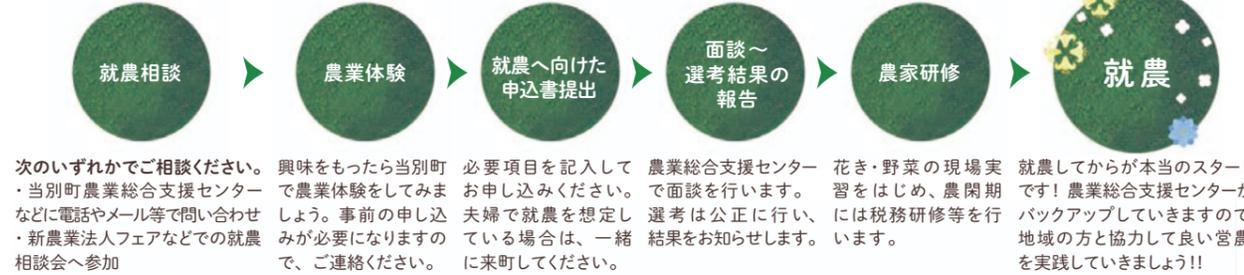


CHECK!
当別町の農業
当別町には8500haの耕地があり、約500戸が農業に携わっています。主要作物は米や麦、大豆など。花き栽培には約80戸が携わり、品目ごとの部会で栽培技術や品質の向上に取り組んでいます。

ホントその2 まちぐるみでサポート

新規就農者へのサポートの中心になるのが、JA北いしかりを含む6団体で設立した当別町農業総合支援センターです。最初の相談窓口となるのはもちろん、研修カリキュラムの作成や就農に不可欠な農地の確保、就農後のバックアップまで、ワンストップ窓口でサポートを行います。

◎就農までのフローチャート



ご相談から就農まで数年かかる方もいますが、夢が実現できるようサポートしています。

ホントその3 利用しやすい助成制度

日本政策金融公庫の「青年等就農資金」や国の「農業次世代人材投資資金」などの支援制度に加え、当別町で新規就農するには独自に就農準備支援金やビニールハウス等導入支援金などの助成制度を用意しています。就農の壁となる資金面での負担を軽減します。

◎助成例

- 青年等就農資金
- 農業次世代人材投資資金
- 就農準備支援金
- ビニールハウス等導入支援金



ホントその4 IT導入に積極的

当別町はIT機器を活用したスマート農業の導入に積極的に取り組んでいます。IoTセンサとスマートフォンによるハウス作業の効率化やロボット農機による労働コストの削減など、本格活用に向けた実証実験が盛んに行われています。



ホントその5 センパイもバックアップ

既に当別町で新規就農した先輩もあなたのこれからをサポート。同じ立場だからこそその応援メッセージを紹介します。

INTERVIEW

私たちもできる限りサポートしていきます。

当別花卉生産組合 副組合長/ユリオリエントタル部会 副部長 齊藤義也さん・真菜美さん

就農する前はトラックの運転手をしていました。ユリの栽培は簡単ではありませんが、当別には頼りになる先輩指導者がたくさんいますし、「当別産」というブランドも経営面を後押ししてくれます。私たちもできる限りサポートしますので、ぜひチャレンジしてみてください！（義也さん）
「農業は重労働」とイメージしている人が多いと思いますが、ユリの選別などはそれほど重労働ではありませんし、女性でも活躍できる作業です。当別町は自然が豊かでどのびのびと子育てができる土地。“奥さん仲間”が増えるのはワタシたちも大歓迎です。（真菜美さん）



平成27年就農